

第24期 (令和4年11月～令和7年10月)

運営理念

連携・変革・共創による地域経済の未来創生
～日本・世界で最も魅力的な地域創造への挑戦～

基本方針

- 新たな価値創造に立脚した課題解決により、企業と地域の持続的成長を支える
- 組織や分野の枠組みを越えて、環境変化に適応したイノベーションを起こし、地域経済の活力向上に繋げる
- 東三河経済圏の活性化と豊橋の産業発展が表裏一体との認識に立ち、事業運営に広域連携の牽引役としての視座を持つ

令和7年度 重点テーマ/背景・課題感

成長に向けた原資確保

- 日本経済が、コストカット型経済から、賃上げと投資が牽引する成長型経済への移行へ向かうなか、「物価上昇を上回る賃上げの定着」が政策目標に掲げられている。
- 多くの中小企業では、取引条件を改善する動きが見られるが、**上昇する労務費分を転嫁できるまでには至っていない。**
- 人手不足が深刻化するなか、成長と分配の好循環を実現するには、**継続的に賃上げできる原資確保**のため、一層の取引適正化とともに業績改善や成長に不可欠な**「稼ぐ力」の創出・向上**が必要。

人材確保・生産性向上

- 少子高齢化の本格化や生産年齢人口の減少を受けて、受注調整や生産停滞、投資抑制が発生するとともに、**中長期的な事業継続や技能伝承が不安視**されている。
- 高齢者や女性、外国人等の確保・育成、就労環境の改善により、「**働き手の多様化**」を進めるほか、**多様で柔軟な働き方の実現**、生産性や付加価値の拡大に向けた**リスキング**が不可欠。
- 限られた人的資源をコア業務に集中させるため、**デジタル技術の徹底活用**を推し進め、業務効率化や生産性向上を図る必要がある。

事業承継・創業起業

- 地域経済の活力の維持・強化には、事業継続や創業起業を支え、**産業集積の維持発展、魅力的な雇用の創出**が不可欠。
- 「**事業承継ひろば**」や「**創業プラットフォーム**」を枠組みとした支援体制により、事業承継・創業起業ともに相談件数が大きく増加し、事例・ノウハウが蓄積。
- 支援ニーズの掘り起こしとともに、M&Aや創業者とのマッチングなど、**多様な事業承継への対応**、先輩経営者や専門家を活用した**きめ細かな創業起業支援**が必要。

DX・GX・強靱化への対応

- デジタル活用を前提に、ビジネスや経営戦略を見直し、**人材や設備などの経営資源の再編成**することが不可欠。加えて、**地域DXの推進**を図り、地域企業のDX対応を後押しすべき。
- 国際社会全体が**カーボンニュートラル対応**を加速化。地域企業としても、省エネ・脱炭素化だけでなく、**新たな付加価値創造の源泉**として捉える必要がある。
- 気象災害が頻発化・激甚化するなか、南海トラフ巨大地震の発生確率が引き上げられた。サプライチェーンの見直しなどの**強靱化対策**が急務。

産学官連携

- 地域固有の強みやリソースを最大限に有効活用し、地域社会や企業活動においてイノベーションを起こし、課題解決のみならず、魅力や価値の創造を図るため、**産学官が組織・分野の枠組みを越えて有機的に連携**することが必要。
- とりわけ「学」との連携における新規ビジネス創造やスタートアップ創出、革新的技術の社会実装には、人と人、技術と企業、課題と解決を繋ぐ、**双方向主義と現場主義を融合させたコーディネーター機能**が不可欠。

地域づくり・まちづくり

- 多様な主体がコミットして策定した「**豊橋まちなか未来ビジョン**」実現に向けたアクションプログラムの実践。
- 名豊道路や三遠南信自動車道等の事業進捗、浜松湖西豊橋道路の整備機運により、**広域関連道路ネットワークの充実化**が進展。
- 産業構造の変化や地域産業の未来を見据え、新たな視点・発想を反映した、**次期三河港湾計画**の実現。
- **移住者を呼び込む**、スタートアップ支援や子育て、学び直し、職業紹介など、**魅力的な環境づくり**。

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和7年1月末実績

一中小企業支援一

- ・巡回・窓口相談 / 1,341件
- ・マル経融資 / 20件、1億7,990万円
- ・創業支援 / 相談件数 305件、新規創業者数 19件
- ・事業承継相談 / 29件
- ・BSC専門家派遣 / 67件
- ・各種補助金申請支援 / 22社、採択率 45%
- ・パートナーシップ構築宣言 / 市内宣言事業所数 135社、増加件数 27社
- ・“地域の絆”情報交換・商談会 / 申込 246社、参加 215社、商談 450件 (予定)

一人材確保・育成・生産性向上一

- ・合同企業説明会等 / 6回開催、企業 333社、学生数 279名
- ・無料職業紹介所 / 新規求職登録者数 91名、紹介件数 66名、採用人数 14名
- ・モグジョブ (オンライン含む) / 開催数 15回、参加事業所数 49社、参加学生数 125名
- ・とよはし健康宣言事業所数 / 189件
- ・IT導入支援 / 8件
- ・セミナー・講習会 / 25講座、588名
- ・パソコン教室 / のべ受講回数 10,719回、のべ受講者数 1,848名
- ・ビジネスパーク (春・秋) / 講師数 196名、派遣校 22校、参加生徒 2,860名

I. 中小企業の自己変革支援と地域経済の活力強化

《事業の柱①》「稼ぐ力」の創出に挑戦する中小企業への伴走支援

1) 環境変化を克服する課題解決支援

- ① 売上拡大や資金繰り改善を図る経営相談の対応強化 (販路拡大、事業再構築等)
- ② 取引適正化の推進に向けた「パートナーシップ構築宣言」の普及啓発、価格交渉や原価計算のスキル向上支援
- ③ 地域の絆 情報交換・商談会など、ビジネスマッチングによる販路開拓・取引拡大支援

2) 成長力を強化する付加価値創出・拡大支援

- ① M&Aや創業者とのマッチングなど、多様な事業承継による価値あるビジネスの引継ぎ支援
- ② 経営者・専門家のメンタリングや創業塾等を通じた創業者・スタートアップ支援
- ③ 新たな市場獲得を目指した越境ECなど、海外展開支援の取り組み強化

《事業の柱②》人材確保・育成 × 省力化・生産性向上

1) 人材の確保・活躍促進支援

- ① 学生就職情報センターやモグジョブなどによる新卒人材の採用支援の推進
- ② 移住人材のほか、シニア層や専業主婦などの潜在労働人口をターゲットとしたキャリア人材の採用支援の強化
- ③ 事業成長や新事業展開に向けた、副業・兼業人材の活用推進
- ④ 高齢者や女性、外国人、障がい者の活躍促進と多様で柔軟な働き方改革の推進

2) 人材の育成・雇用安定支援

- ① 事業創造や技術革新に対応できるリスキリングを意識したセミナー・講習会やスキルアップ講座等の展開
- ② ビジネスパーク事業による地域と企業の将来を担う人材の育成

3) 労働人口減少に打ち勝つデジタル実装支援

- ① ITベンダー企業や専門家と連携した、生産性向上に繋がるIT導入の後押し
- ② 生成AIなど最新デジタルツールのビジネス実装事例の発信

【主な取り組み・達成目標】

- 挑戦を後押しする伴走型支援の推進
 - 補助金申請支援 (事業再構築、持続化、もの補助等) : 80件、目標採択率: 70%以上
 - 事業承継・事業引継ぎ相談 : 50件
 - 創業相談 : 300件
 - 海外展開相談 : 25件
 - 地域の絆 情報交換・商談会 : 商談数 450件
- 価格交渉に向けた相談・支援策の展開
 - 価格交渉力強化に向けたセミナーの開催
 - 価格転嫁相談窓口の開設
- 賃上げ促進税制や業務改善助成金等の活用PR
- 日本商工会議所などのプログラムを活用した海外向けテストマーケティングの実践

- 就職活動の早期化や多様化を踏まえた新卒採用事業の再構築
- 無料職業紹介所における求人検索サイト活用によるキャリア人材のマッチング促進
 - 求職者新規登録人数 : 100名
 - 紹介 / 採用件数 : 80件 / 30件
- 副業・兼業、育休促進など、多様で柔軟な働き方を経営に活かす事例・ノウハウの発信
- 外国人の活躍促進に向けた育成就労制度等の活用情報発信
- IT導入サポートデスクやIT推進委員会を通じた生産性向上、販路拡大等に関する課題解決・IT導入事例による取り組みの後押し
 - 相談支援件数 : 30件
 - 各種デジタルツールやソリューションの展示・相談会の開催

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和7年1月末実績

一産業振興一

- ものづくり博2024in東三河／出展企業・団体数 80社、入場者数 15,500名
- 東三河産業創出協議会／ものづくり支援コーディネーターを通じた技術課題解決支援 33件、東三河ものづくり大賞の審査・表彰など
- プレミアム付電子商品券事業／登録店舗数 1,086件
- ええじゃないか豊橋まつり開催
- 第29回炎の祭典／観覧者数 4,091人、ツアーバスでの来場 62台

一調査事業一

- 景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査
- 取引価格適正化・人手不足等に関するWEBアンケート調査〔県連携事業〕

一政策提言・要望活動一

- 浜松湖西豊橋道路建設促進期成同盟会の組織強化
- 浜松湖西豊橋道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、名浜道路等の整備促進
- 三河港の整備促進
- 設楽ダム建設促進
- 豊橋市との政策懇談会の開催
- 公正取引委員会中部事務所との懇談会の開催

I. 中小企業の自己変革支援と地域経済の活力強化

《事業の柱③》 地域の強みを活かした産業形成・産業振興

1) 産学官連携・広域連携

- 東三河広域経済連合会を軸とした「ものづくり産業振興」「高度産業人材育成」「健康経営普及啓発」「広域観光振興」の推進
- 東三河スタートアップ推進協議会やステーションAiを通じたスタートアップの創出支援や地域外からの呼び込み
- 県下商工会議所や産業支援機関等の主催による広域的なマッチングイベントを通じた販路開拓・取引拡大支援
- (株)サイエンス・クリエイト、地元金融機関等との共同による人材育成を中心とした中小企業の経営力向上に資するスキルアップ支援

2) 商業・サービス業振興

- プレミアム付電子商品券「TOYOPay」を活用した域内消費拡大
- 新商品開発や市場調査に繋げるテストマーケティング支援

3) ものづくり振興

- 東三河産業創出協議会による「実践MOT講座」や「東三河ものづくり大賞」を通じたものづくり企業の人材育成・開発力の向上
- 東三河産学官連携形成委員会をプラットフォームとした研究シーズの社会実装推進やものづくり企業の課題解決支援

4) 観光・コンベンション振興

- 炎の祭典の開催やコンテンツ・ツーリズムの展開による観光誘客・シティプロモーションの推進

【主な取り組み・達成目標】

- Startup GarageやCLUE、emCAMPUS、ステーションAiなどと連携した「食や農」に関するスタートアップの創出や地域中堅・中小企業のイノベーションの促進
- 三遠南信や愛知県、東三河など広域的な産業機関や大学等のネットワークを活かした販路開拓、取引拡大など多様なビジネスチャンスにつながる各種マッチングの展開
 - 商談・マッチング件数：80件
- ものづくり支援コーディネーターによる技術課題の掘り起こしと大学等の研究シーズとのマッチング
 - コーディネート支援件数：40件
- 「TOYOPay」登録店舗数の拡充
 - 目標登録店舗数：1,500件
- 地域固有の手筒花火のほか、発信力のあるコンテンツを活かした聖地巡礼など、観光資源の磨き上げと活用

II. 魅力と活力にあふれる地域づくり

《事業の柱④》 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

1) ニーズに基づいた政策提言・要望

- 部会、委員会、巡回訪問、各種調査等を通じた意見集約
- 激変する社会課題や経営環境の高度化・多様化に対応したタイムリーで実効的な要望提言の実施

2) 実現性強化と成果の見える化

- 課題解決や戦略共有に向けた行政機関、各種支援機関等との対話強化
- 活動成果の地域・会員へのフィードバック

【主な取り組み・達成目標】

- 会員のニーズや課題の把握手段である各種調査事業の充実及び回答率向上
- 積極的な提言・要望活動の推進
 - 経済対策・中小企業対策・税制・規制緩和
 - 社会資本整備・強靱化・地域DX・まちづくり
 - 将来の魅力創造に向けた教育・子育て・就労・居住・公共交通の充実や新アリーナ整備

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和7年1月末実績

一広域連携による地域づくり

- 東三河広域経済連合会／全体会議・経済フォーラム開催
- 東三河ビジョン協議会、東三河スタートアップ推進協議会、ほの国東三河観光ビューロー等への参画
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議／ビジョン推進、三遠南信サミット2025in東三河の開催
- 三遠南信地域経済開発協議会／三遠南信自動車道の整備促進要望

一中心市街地活性化一

- 豊橋まちなか活性化センター／賑わい創出イベントの開催
- 豊橋まちなか未来会議への参画・ビジョン推進

Ⅱ.魅力と活力にあふれた地域づくり

《事業の柱⑥》 界を越えた連携と共創による地域づくり

1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進

- 市町村界を越えた生活圏の強化や森林資源の循環利用などをテーマとした、愛知県東三河総局や東三河8市町村、東三河広域連合との連携事業の展開
- 豊橋技術科学大学が展開する半導体研究・開発施設「LSI工場」を通じた、地域企業の人材力・技術力・開発力の向上
- 地域連携DMOとして登録された（一社）ほの国東三河観光ビューローへの参画

2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

- 都心居住者の増加や広小路1丁目北地区再開発事業を踏まえた中心市街地・公共交通・公共駐車場の魅力創造
- 2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素経営の普及啓発
- 背後圏の産業構造変化や地域エネルギー政策、港湾間ネットワーク形成、官民一体の運営体制を反映した次期三河港港湾計画の推進
- 二川・湖西地区県境域における渋滞解消、広域防災対策への取り組み

【主な取り組み・達成目標】

- 東三河ビジョン協議会の「住み続けられる地域生活圏の形成」や「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」への積極的な参画
- ほの国東三河観光ビューローへの参画を通じたインバウンド誘客と観光消費の拡大
- 中心市街地の将来像実現とアクションの展開
 - 「豊橋まちなか未来ビジョン」実現への協働
 - 駅前大通の実証実験を踏まえたウォークラブルな街路整備の促進
 - 賑わい創出イベントや東三河MaaS、公共駐車場の満空情報サイトなどを活用した来街促進策の展開
- 脱炭素経営セミナーの開催及び日本商工会議所の「CO₂見える化サポート」などの活用による排出量等の見える化

Ⅲ.企業と地域を支える組織基盤の強化

《事業の柱⑦》 商工会議所の組織基盤強化と機能向上

1) 組織・財務基盤の強化

- 会員満足向上に繋がる魅力的なサービスメニューの構築
- 課題・ニーズの把握、繋がり強化を目的とした会員訪問の推進
- プレスリリースや会報誌、SNS等による発信力強化とプレゼンス向上
- ビジネス創造に繋がる進出企業と中小・中堅企業との交流機会の創出
- 会員メリット向上の原資確保に向けた財政基盤の強化（貸会議室、各種保険・共済制度など）

2) 運営体制・機能の向上

- 部会、委員会、女性会、青年部、各種団体、事務局の活性化
- 魅力ある地域創造に意欲を持つ会員の参画の場づくり
- 事業活動の価値創造や生産性向上、セキュリティ強化を果たすDX・デジタル化の推進
- 日商等の研修機会を通じた職員の資質や経営指導員の支援力の向上

【主な取り組み・達成目標】

- 会員サービス委員会を通じた利用メニューの見直しによる会員拡大・基盤強化
 - 会員加入促進：新入会員 200件
- 事業所の福利厚生や事業創造などに繋がる会員サービス事業のプロモーション強化
 - 「生命共済制度」、「ビジネス総合保険」、「業務災害補償プラン」等の加入促進
 - 貸会議室の利用促進
- 会員事業所と商工会議所双方の価値向上・生産性向上に繋がるデジタル化の推進
 - メールアドレス取得率：50%以上
 - 各種調査事業のオンライン化の検討

一会員サービス・基盤強化一

- 会員数/5,199会員（新入会員数82件）
- 生命共済制度/加入事業所数 827社・口数 6,139口
- 定期健康診断/利用事業所数：42社、受診者数：174名
- 労働保険事務委託事業所数/313社
- 貸会議室/3階ホールの床、什器類の更新等
- 公式ブログ・SNSによる情報発信/投稿記事数 381回・SNS総フォロワー数 8,892